

副甲状腺（良性）腫瘍摘出術 前日クリニカルパス 患者さんパスシート（No.1）

氏名		診療科名	内分泌外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院1日目（手術前日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活について理解しましょう 手術について理解しましょう 転倒・転落の予防について理解しましょう
検査	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査などがある場合があります
薬	<ul style="list-style-type: none"> 持参の薬は継続して内服するかどうかを主治医に確認するため一度お預かりします（医師からの指示に応じ内服を継続していただきます） 血液をさらさらにする薬を内服している方は、中止した日付を確認します
観察	<ul style="list-style-type: none"> 頸部の腫れ・嚔声の有無、全身状態などを観察します
処置	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日 21 時から食べることはできません 24 時より水分をとることはできません
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日に必ずシャワーをあげましょう
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院中の生活について説明します 入院中の転倒・転落防止策を看護師からお話します 手術前日に麻酔科受診があります（時間はお伝えします） 手術に必要な物品を準備します 手術入室時間の説明をします ご家族の待機場所もお伝えします 入院中の転倒・転落防止策を看護師からお話します

＜必要物品＞

- 浴衣
- T字帯
- バスタオル

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2021年1月改訂

副甲状腺（良性）腫瘍摘出術 前日クリニカルパス 患者さんパスシート（No.2）

氏名		診療科名	内分泌外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院2日目（手術前）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・手術について理解しましょう ・転倒・転落の予防について理解しましょう
検査	
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・朝分の薬を朝6時に少量の水で内服します
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・手術前に、血圧・体温・脈拍を測定します
処置	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません ・手術に行く直前に、排尿を済ませてください
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・起床後、食事・水分を摂らずにお待ちください
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・起床後、歯磨き・洗面を済ませてください
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・手術の時間になったら弾性ストッキングを履き 浴衣に着替えて手術室に向かいます（看護師が声をおかけします） ・手術について不明な点、不安な点があれば説明しますので 声をおかけください ・転倒防止について説明します

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

副甲状腺(良性)腫瘍摘出術 前日クリニカルパス 患者さんパスシート(No.3)

氏名		診療科名	内分泌外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院2日目(手術当日・手術後)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・傷の痛みや吐き気、息苦しさ、体の熱さ、むせ込み、唾液の飲み込みがしづらい等の症状があれば我慢せず医師や看護師に伝えましょう ・その他、症状を感じたら医師や看護師に伝えましょう ・管が曲がったり抜けたりしないよう注意しましょう ・手術後の安静を守りましょう ・転倒・転落に注意しましょう
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・手術をした側の傷の付近に管が入っている場合があります ・酸素マスクをつけます ・痛みが強いつきは痛み止めの点滴をします(スタッフにお伝えください) ・手足や口周りがしびれるときはカルシウム剤の点滴をします(スタッフにお伝えください)
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服薬は食事が開始となってから開始となります ・抗生物質の点滴をします(手術後に行います) ・水分補給のための点滴をします
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・術後4時間は看護師が1時間毎に検温と創部の観察を行います ・痛み・嘔声・吐気・頸部の腫脹・息苦しさ・傷からの出血・テタニー症状 飲み込みづらさ、看護師が観察します ・管の排液量、色を観察します
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・排便はベッド上での排泄となります ・尿の管が入っています
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日はベッドの上での安静となります (体の向きを変えること、ベッドのギャッジアップは可能です)
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室から帰室6時間後に少量の水を飲んでみてむせこみがなければ 飲水ができます
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・手術終了後主治医よりご家族の方へ手術の経過についてお話をします ・手術後の出血を防ぐために、頸部の安静が必要となります 翌日の朝までは、ベッド上で安静に過ごしてください ・深部静脈血栓症を予防するために、手足は時々動かしましょう



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

副甲状腺(良性)腫瘍摘出術 前日クリニカルパス 患者さんパスシート(No.4)

氏名	
----	--

診療科名	内分泌外科		
入院予定期間	年	月	日
	年	月	日

月日	/
経過	入院3日目(手術後1日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛み・傷口周囲の腫れ・手足のしびれ・こわばり・発熱等の症状がある時は我慢せずに医師や看護師に伝えましょう 管が曲がったり抜けたりしないよう注意しましょう 転倒・転落に注意して過ごしましょう
観察	<ul style="list-style-type: none"> 痛み・嘔声・吐気・頸部の腫脹・息苦しさ・傷からの出血・テタニー症状(手足、唇の痺れ、強張り)・飲み込みづらさ、看護師が観察します 創部に入っている管の排液量、色、を確認します
薬	<ul style="list-style-type: none"> 持参された薬があれば、内服薬が再開となります 17時に点滴の針を抜きます 
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 耳鼻咽喉科の診察があります
処置	<ul style="list-style-type: none"> 傷口に入っている管を抜きます(管から出てくる液の量や性状を見て医師が時期を判断します)
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 朝6時に尿道の管を抜きます 初めて歩く時には看護師が付き添います ふらつきがなければご自身でトイレに行くことが可能となります
活動	<ul style="list-style-type: none"> 初めて歩く時には看護師が付き添います ふらつきがなければ制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> 朝・昼・夕ともにお粥となります
清潔	<ul style="list-style-type: none"> タオルで体を拭くことができます 
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 管は曲げたり、引っ張ったりしないよう注意しましょう 転倒防止について説明致します

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

副甲状腺（良性）腫瘍摘出術 前日クリニカルパス 患者さんパスシート（No.5）

氏名		診療科名	内分泌外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院 4 日目（手術後 2 日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛み・傷口周囲の腫れ・手足のしびれ・こわばり・発熱等の症状がある時は我慢せずに医師や看護師に伝えましょう ・管が曲がったり抜けたりしないよう注意しましょう ・転倒・転落に注意して過ごしましょう ・退院後の生活について知りましょう
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・痛み・嘔声・吐気・頸部の腫脹・息苦しさ・傷からの出血・テタニー症状 飲み込みづらさ、看護師が観察します ・創部に入っている管の排液量、色、を確認します
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・持参された薬があれば、内服が継続となります
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・傷口に入っている管を抜きます（管から出てくる液の量や性状を見て医師が時期を判断します）
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・管が抜ければシャワー浴が可能となります
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の注意事項について説明します（退院後の生活について 参照）

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2021 年 1 月改訂

副甲状腺（良性）腫瘍摘出術 前日クリニカルパス 患者さんパスシート（No.6）

氏名		診療科名	内分泌外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日


月日	/
経過	入院5日目（手術後3日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内を歩行しましょう ・痛み・傷口周囲の腫れ・手足のしびれ・こわばり・発熱等の症状がある時は我慢せずに医師や看護師に伝えましょう ・退院後の生活について理解しましょう ・転倒・転落に注意しましょう
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・痛み・嘔声・吐気・頸部の腫脹・息苦しさ・傷からの出血・テタニー症状 飲み込みづらさ、看護師が観察します
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・持参された薬があれば、内服が継続となります
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・処置はありません
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴ができます
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の注意事項について説明します（退院後の生活について 参照） 退院後の生活についての説明をもとに、家事や仕事、趣味などご自身の生活について考えてみましょう 退院後の生活がイメージできるように看護師も一緒に考えます

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2021年1月改訂

副甲状腺（良性）腫瘍摘出術 前日クリニカルパス 患者さんパスシート（No.7）

氏名		診療科名	内分泌外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院日6日目（手術後4日目：退院日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の生活をイメージしましょう ・退院後の生活について疑問点があれば質問しましょう ・転倒・転落に注意しましょう 
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・痛み・嘔声・吐気・頸部の腫脹・息苦しさ・傷からの出血・テタニー症状 飲み込みづらさ、看護師が観察します
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・持参された薬があれば、内服が継続となります
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・退院前に医師が傷口のテープを貼り変えます
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴できます
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の注意事項について説明します（退院後の生活について 参照） 退院後の生活についての説明をもとに、家事や仕事、趣味などご自身の生活について考えてみましょう 退院後の生活がイメージできるように看護師も一緒に考えます ・保険などの書類は、退院日に本館1階のAブロック文書受付窓口に提出してください

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

<退院後の生活について>

【食事について】

- 食事の制限はありません。
- 飲酒制限はありませんが、適量にしましょう。



【内服について】

- 術後の血液検査で低カルシウム血症を認めた場合はカルシウム製剤、ビタミンD製剤が処方されます。
- 甲状腺機能低下症の場合は甲状腺ホルモン剤が処方されます。

【感染予防について】

- 風邪をひかないよう手洗い・うがいを続けましょう。

【手術後の頸部について】

皮下組織は時間経過とともに溶ける糸で縫っているため、傷が開くことはありません。のどや傷、頸部全体の違和感が数か月ほど持続することがあります。なるべく早くからマッサージやストレッチを行いましょう。

【生活について】

• 入浴

制限はありません。湯船につかってかまいません。創部は優しく洗ってください。ただし、美容院等での上向きの洗髪は頸部に負担がかかりますので1か月後まで避けてください。

• 勤務/運動/外出

デスクワークは退院直後より可能です。運動・重いものを持つなど負荷の強い仕事、運転は2週間後より可能です。特に運転については十分な安全確認ができるようになってから再開してください。外出や旅行の制限はありません。

• 食事/嗜好品

制限はありませんが、スナック菓子やジャンクフードの取りすぎはカルシウムの吸収を阻害してしまうため、注意しましょう。

【注意事項】

《タナー症状（口唇、手指のしびれ）について》

手術後、カルシウム剤・ビタミンD製剤の服用をされている方は、指示どおりに服用を続けましょう。服用を続けていれば、タナー（口唇、手指のしびれ）を起こすことは通常ありませんが、しびれが強いとき・長時間続くときは、外来にご連絡ください。

《傷の手当てについて》

テープは傷の保護のために貼ります。

- ・退院前にテープを医師が貼り替えます。
- ・1か月程度（次回の外来受診）までそのままにしておきます。
- ・剥がれ落ちた場合は購入していただいたサージカルテープを重ねるように貼りましょう。

★テープかぶれ

かゆいとき、違和感が強いとき、周りが赤くなってきたときはすべてはがしてお湯で洗ってください。テープは貼らずにそのまま、もしくは市販のガーゼをあてておきましょう。

★体質によってはテープを貼っていても、ケロイドとよばれる肥厚性瘢痕になる方もいます。創の経過を診ながら専門医（形成外科）に紹介する場合があります。

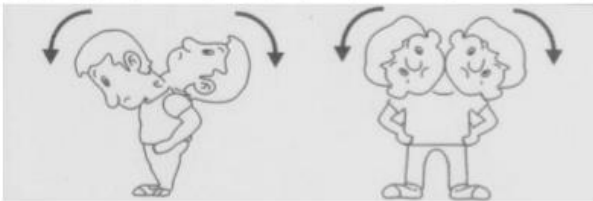
《首のストレッチについて》

ゆっくりと行いましょう。

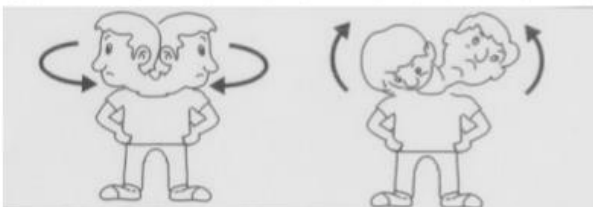
頸部リハビリテーション（ストレッチ体操）

頸・肩の運動

①頭を前後に倒してみよう。頭を左右に倒してみよう。



②頭を左右に回してみよう。頭を横に回してみよう。

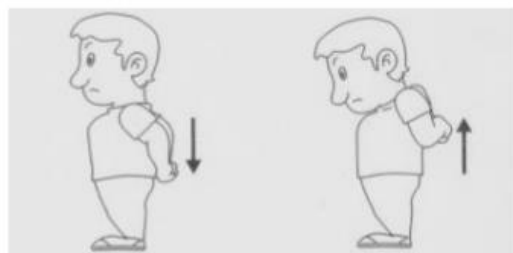


③肩をすくめてみよう。肩や頭の筋肉をほぐし和らげます。

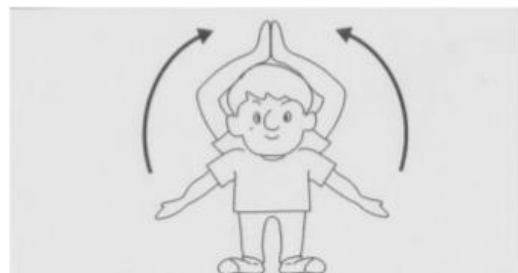


腕の運動

④腕を背中にまわしてみよう。できるようになったら、腕を頭の後ろにまわしてみよう。



⑤腕を前に伸ばし、上に向かって上げてみよう。腕を横に伸ばし、上に向かって上げてみよう。



図はイメージです。無理なく、ゆっくりと最大限まで動かしてみてください。多少違和感があっても、痛くなるかならないかの直前まで、ゆっくりと力を加えてください。

【緊急時の対応】

- 緊急連絡先や病院の連絡先はすぐにわかるように備えておきましょう。
- 体調がすぐれないときはご連絡ください。
- 心配なことやわからないことがありましたら、いつでも医師・看護師にご相談ください。

日本医科大学付属病院（代表）03-3822-2131

内分泌外科 外来E 内線（7460）

日本医科大学付属病院（代表）03-3822-2131

形成美容外科外来（内線）（3366・3367）〈9:00～16:30〉

総合診療センター（内線）（3304・3305）〈16:30～9:00〉